

4) 地下水の水質の状況

(1) 概況調査

調査区域では、地域の全体的な地下水質の概況を把握するための概況調査（ローリング方式）が実施されています。令和4年度～令和6年度の概況調査結果は表4.1.2-8に示すとおりです。

令和4年度は3地点、令和5年度は4地点、令和6年度は3地点で調査が行われており、全ての地点で環境基準を達成しています。

表 4.1.2-8(1) 地下水測定結果（概況調査 令和4年度）

[単位：mg/L]

市町名	大分市			環境基準値
	地区名	松岡	宮河内	
用途	生活用水	その他	生活用水	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	0.02 以下
砒素	#0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	-	-	-	検出されないこと
PCB	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	#0.9	#2.8	#4.5	10 以下
ふっ素	#0.13	#0.09	#0.15	0.8 以下
ぼう素	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下

注1) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注2) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未滿。

注3) 「#」は定量下限値以上の測定値。

注4) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典：「大分県 HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

表 4.1.2-8(2) 地下水測定結果（概況調査 令和5年度）

[単位：mg/L]

市町名 地区名 用途	大分市			臼杵市	環境基準値
	畑中	下戸次	寒田	野津町野津市	
	生活用水	生活用水	その他	生活用水	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	0.02 以下
砒素	<0.001	<0.001	#0.001	<0.001	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	-	-	-	-	検出されないこと
PCB	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.002	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0005	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0005	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.001	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	#3.9	#1.5	#0.3	#2.0	10 以下
ふっ素	#0.13	#0.13	#0.19	#0.11	0.8 以下
ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下

注1) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注2) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未満。

注3) 「#」は定量下限値以上の測定値。

注4) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典：「大分県 HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)」
(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

表 4.1.2-8(3) 地下水測定結果(概況調査 令和6年度)

[単位:mg/L]

市町名 地区名 用途	大分市			環境基準値
	葛木	丹川	中判田	
	生活用水	生活用水	生活用水	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	0.02 以下
砒素	<0.001	#0.001	<0.001	0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	-	-	-	検出されないこと
PCB	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	#4.9	#4.4	#2.7	10 以下
ふっ素	#0.22	#0.34	#0.11	0.8 以下
ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 以下

注1) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注2) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未満。

注3) 「#」は定量下限値以上の測定値。

注4) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典:「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

(2) 継続監視調査

調査区域では、汚染地域について継続的な監視、経年的なモニタリングとして実施する継続監視調査が実施されています。令和6年度の継続監視調査の調査結果は表4.1.2-9に示すとおりです。

令和6年度は8地点で調査が行われており、2地点で環境基準を超過した項目があります。

表 4.1.2-9(1) 地下水測定結果（継続監視調査 令和6年度）

[単位：mg/L]

市町名 地区名 用途	大分市					環境基準値
	松岡 その他	松岡 その他	松岡 その他	松岡 その他	松岡 その他	
カドミウム	-	-	-	-	-	0.003 以下
全シアン	-	-	-	-	-	検出されないこと
鉛	-	-	-	-	-	0.01 以下
六価クロム	-	-	-	-	-	0.02 以下
砒素	-	-	-	-	-	0.01 以下
総水銀	-	-	-	-	-	0.0005 以下
アルキル水銀	-	-	-	-	-	検出されないこと
PCB	-	-	-	-	-	検出されないこと
ジクロロメタン	-	-	-	-	-	0.02 以下
四塩化炭素	-	-	-	-	-	0.002 以下
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)	#0.0012	#0.0004	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	#0.020	#0.014	#0.011	#0.0055	#0.010	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	0.006 以下
トリクロロエチレン	#0.004	#0.003	#0.0045	#0.0045	#0.004	0.01 以下
テトラクロロエチレン	-	-	-	-	-	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	-	0.002 以下
チウラム	-	-	-	-	-	0.006 以下
シマジン	-	-	-	-	-	0.003 以下
チオベンカルブ	-	-	-	-	-	0.02 以下
ベンゼン	-	-	-	-	-	0.01 以下
セレン	-	-	-	-	-	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	-	-	-	-	-	10 以下
ふっ素	#0.10	#0.28	#0.25	#0.11	#0.11	0.8 以下
ほう素	-	-	-	-	-	1 以下
1,4-ジオキサン	-	-	-	-	-	0.05 以下

注1) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注2) 網掛けは環境基準を超過している値を示す。

注3) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未満。

注4) 「#」は定量下限値以上の測定値。

注5) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典：「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

表 4.1.2-9(2) 地下水測定結果(継続監視調査 令和6年度)

[単位: mg/L]

市町名 地区名 用途	大分市		豊後大野市	環境基準値
	松岡	丸亀	千歳町柴山	
	その他	生活用水	生活用水	
カドミウム	-	-	-	0.003 以下
全シアン	-	-	-	検出されないこと
鉛	-	-	-	0.01 以下
六価クロム	-	-	-	0.02 以下
砒素	-	-	-	0.01 以下
総水銀	-	-	-	0.0005 以下
アルキル水銀	-	-	-	検出されないこと
PCB	-	-	-	検出されないこと
ジクロロメタン	-	-	-	0.02 以下
四塩化炭素	-	-	-	0.002 以下
クロロエチレン (塩化ビニルモノマー)	<0.0002	-	-	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	-	-	-	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	-	-	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	#0.095	-	-	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	0.006 以下
トリクロロエチレン	#0.002	-	-	0.01 以下
テトラクロロエチレン	-	-	-	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	0.002 以下
チウラム	-	-	-	0.006 以下
シマジン	-	-	-	0.003 以下
チオベンカルブ	-	-	-	0.02 以下
ベンゼン	-	-	-	0.01 以下
セレン	-	-	-	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	-	42	11	10 以下
ふっ素	#0.29	-	#0.08	0.8 以下
ほう素	-	-	-	1 以下
1,4-ジオキサン	-	-	-	0.05 以下

注1) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注2) 網掛けは環境基準を超過している値を示す。

注3) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未満。

注4) 「#」は定量下限値以上の測定値。

注5) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典: 「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

(3)ダイオキシン類

調査区域における、地下水のダイオキシン類の令和4年度～令和6年度の調査結果は表4.1.2-10に示すとおりです。

地下水のダイオキシン類は4地点で調査が行われており、環境基準を達成しています。

表 4.1.2-10 地下水におけるダイオキシン類の調査結果（令和4年度～令和6年度）

調査地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	環境基準値	環境基準の達成状況 (達成 ・ 非達成×)	調査年度
大分市	葛木	0.057	1.0 pg-TEQ/L 以下		令和6年度
大分市	丹川	0.063			令和6年度
大分市	中判田	0.058			令和6年度
大分市	下戸次	0.058			令和5年度
大分市	宮河内	0.059			令和4年度
大分市	中判田	0.063			令和4年度
大分市	松岡	0.23			令和4年度

出典：「大分県 HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

5) その他の水に係る環境の状況

(1) 源泉の状況

調査区域には、58 箇所の主な源泉があります。調査区域における主な源泉は表 4.1.2-11 に、位置は図 4.1.2-4 に示すとおりです。

なお、実施区域では、主な源泉は確認されていません。

表 4.1.2-11(1) 主な源泉の一覧

番号	源泉名称	湧出地	泉質
1	大分温泉チュリス明野	大分市明野北5丁目10番	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
2	明野アサヒ温泉	大分市明野東1-2328-1	アルカリ性単純温泉
3	米満内科医院	大分市明野南1丁目27-10	アルカリ性単純温泉
4	明治清流苑	大分市猪野729番地1	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
5	デジタル温泉	大分市上野町2848番地の8	ナトリウム - 炭酸水素塩温泉
6	帆秋病院 温泉1号	大分市大字大分4232-1	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
7	朝来野邸温泉	大分市大字大分4890-1	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物泉
8	元町公民館温泉	大分市大字大分字中前田4697-1	アルカリ性単純温泉
9	帆秋病院 温泉2号	大分市大字大分上井東4277-5	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
10	南大分第1源泉	大分市大字奥田字台654番	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
11	南大分第2源泉	大分市大字奥田字台656番1	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
12	鷲野温泉 はなまるの湯 2号井	大分市大字鷲野字祐ノ木971番 1	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
13	タキオ保養院	大分市大字片島1355番地	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
14	アイリスつるさき	大分市大字迫538番地の2	温泉法第二条の別表に規定するメタ けい酸の項により温泉に適合する。た だし療養泉には該当しないので泉質 名はない。
15	寒田 山桜花温泉	大分市大字寒田486番26	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
16	寒田ささむた苑温泉管理 組合	大分市大字寒田字貴船1585-2	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物泉
17	鷲野温泉 はなまるの湯 1号井	大分市大字寒田字向田1128番1	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
18	大分朋友会 朋友診療所	大分市大字下宗方櫛引258番地	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
19	大分温泉 同仁会温泉	大分市大字下郡1410番地	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
20	下郡ニュータウン温泉	大分市大字下郡1533番地の 31、32	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
21	柚ノ木温泉	大分市大字下郡字柚ノ木921番 地	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
22	下郡温泉	大分市大字下郡下郡工業団地	ナトリウム - 塩化物泉
23	興南温泉	大分市下郡南2-2-18	アルカリ性単純温泉
24	ぶんど温泉 高田の湯	大分市字下徳丸西上鶴33番1地 内	ナトリウム・マグネシウム - 炭酸水素 塩・塩化物泉

注1) 表中の番号は図 4.1.2-4 に対応

注2) 表中の網掛けは詳細な位置を特定できない地点を示す。

出典: 「大分県 HP / 大分県鉱泉誌 2020」(令和7年12月現在、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第72号」(令和3年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第73号」(令和4年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第74号」(令和5年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第75号」(令和6年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第76号」(令和7年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

表 4.1.2-11(2) 主な源泉の一覧

番号	源泉名称	湧出地	泉質
25	ぶんど温泉 高田の湯	大分市大字下徳丸字西上鶴81番	ナトリウム・マグネシウム - 炭酸水素塩温泉
26	田尻誠寿園温泉	大分市大字高瀬562番地3	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物温泉
27	松山診療所温泉	大分市大字田尻字上橋453-8	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物温泉
28	植木農園 源泉上	大分市大字津守字曾ヶ迫2518-4	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
29	憩いの館温泉	大分市大字津守字長田2547番地の11	ナトリウム - 塩化物温泉
30	介護老人保健施設 リバーサイド百々園	大分市大字津守字山崎2742-1	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
31	グラディ丹生の郷 温泉	大分市大字丹生147-3	含二酸化炭素 - ナトリウム - 塩化物強塩・炭酸水素塩泉
32	大分市丹生温泉施設	大分市大字丹生字上辻1189番地	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
33	らんぶの湯 花園店	大分市大字羽屋字花園756番地3	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
34	うえお乳腺外科温泉施設	大分市大字羽屋字鋤崎188番2	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
35	リハビリテーション市ヶ谷整形外科	大分市古国府6-3-5	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物温泉
36	桃花苑	大分市大字曲字箕久保320番地	ナトリウム - 塩化物泉
37	希感舎の湯	大分市大字松岡字松ヶ丘6717番6、6858-2字上牧ノ内6841-326	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物泉
38	丸亀温泉水	大分市大字丸亀135番地	単純温泉
39	温泉リバーサイド病院	大分市大字宮崎6-3	ナトリウム - 塩化物泉
40	大分森町温泉やまなみの湯	大分市大字森字六反田595-2	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
41	宝珠温泉 こがね湯	大分市森町358-99	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
42	白水長久苑温泉	大分市大字横尾字大原1897番地2	ナトリウム - 炭酸水素塩温泉
43	金池温泉	大分市金池町1-11-6	ナトリウム - 炭酸水素塩温泉
44	大分駅ビル(仮称)温泉 井戸新設	大分市要町5926-2	ナトリウム - 炭酸水素塩泉
45	SJR大分温泉	大分市要町6-50	ナトリウム - 炭酸水素塩泉
46	丸山温泉	大分市顕徳町1丁目2829-1	ナトリウム - 炭酸水素塩泉
47	玉沢温泉	大分市玉沢78番地	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物温泉

注1) 表中の番号は図 4.1.2-4 に対応

注2) 表中の網掛けは詳細な位置を特定できない地点を示す。

出典: 「大分県 HP / 大分県鉱泉誌 2020」(令和7年12月現在、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第72号」(令和3年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第73号」(令和4年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第74号」(令和5年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第75号」(令和6年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第76号」(令和7年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

表 4.1.2-11(3) 主な源泉の一覧

番号	源泉名称	湧出地	泉質
48	大分温泉	大分市西大道2丁目1番20号	ナトリウム - 炭酸水素塩泉
49	大津温泉	大分市東大道1丁目2489番地3	アルカリ性単純温泉
50	うちのうりハビリテーションクリニック	大分市錦町二丁目3372-2	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩泉
51	太平の里デイサービスセンター	大分市南太平寺2組の3	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
52	モール泉	大分市六坊北町3-27	ナトリウム - 炭酸水素塩泉
53	ブンゴヤ・ファインケア豊	大分市西大道2-567-1	単純温泉
54	アリストンホテル大分	大分市金池町1丁目9番	ナトリウム - 炭酸水素塩温泉
55	天然町温泉	大分市明野北5-1-43	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物温泉
56	仁医会病院	大分市大字古国府6丁目2番47	ナトリウム - 炭酸水素塩・塩化物温泉
57	みやざき郷温泉	大分市大字宮崎字シモ1018-1	ナトリウム - 塩化物・炭酸水素塩温泉
58	癒しの湯	臼杵市大字塚田字中対田11組	ナトリウム - 塩化物泉

注1) 表中の番号は図 4.1.2-4 に対応

注2) 表中の網掛けは詳細な位置を特定できない地点を示す。

出典: 「大分県 HP / 大分県鉱泉誌 2020」(令和7年12月現在、大分県生活環境部自然保護推進室)

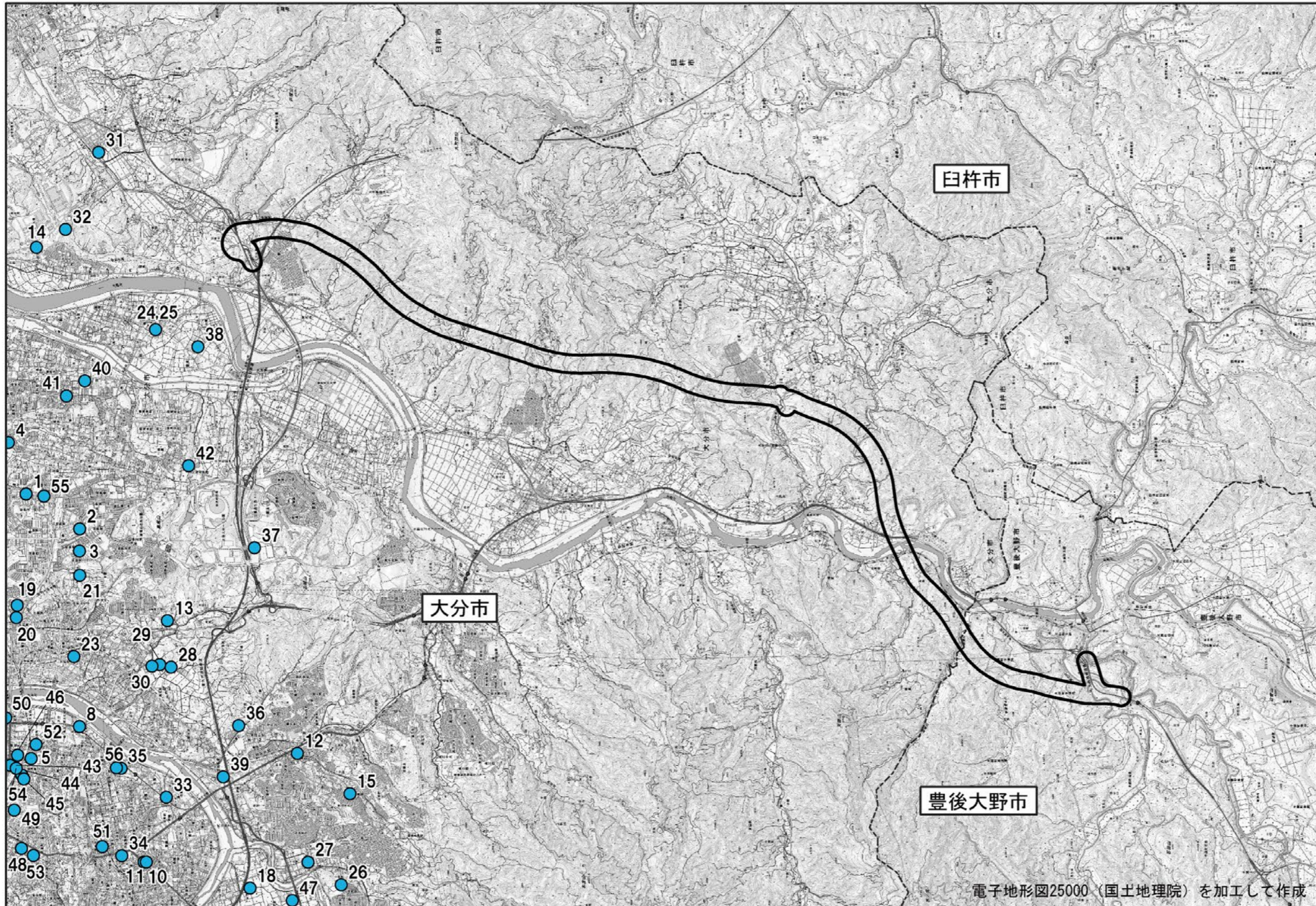
「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第72号」(令和3年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第73号」(令和4年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)




「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第74号」(令和5年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第75号」(令和6年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第76号」(令和7年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)



凡例

-  都市計画対象道路事業実施区域
-  市町村界
-  源泉

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成



出典：「大分県 HP / 大分県鉱泉誌 2020」(令和7年12月現在、大分県生活環境部自然保護推進室)
 「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第72号」(令和3年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)
 「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第73号」(令和4年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)
 「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第74号」(令和5年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)
 「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第75号」(令和6年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)
 「大分県温泉調査報告 温泉分析書 第76号」(令和7年8月、大分県生活環境部自然保護推進室)

図 4.1.2-4 主な源泉の位置

4.1.3 土壌及び地盤の状況

1) 土壌の状況

調査区域の土壌図は図 4.1.3-1 に示すとおりです。

調査区域の山地・丘陵地は、乾性褐色森林土壌、乾性褐色森林土壌（黄褐色）、褐色森林土壌、黄色土壌、黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌、厚層黒ボク土壌等が分布しており、低地部は、灰色低地土壌、細粒灰色低地土壌、粗粒灰色低地土壌、乾性褐色森林土壌、黒ボク土壌、多湿黒ボク土壌、細粒グライ土壌等が分布しています。

調査区域の土壌のダイオキシン類の令和 4 年度～令和 6 年度の調査結果は、表 4.1.3-1 に示すとおりです。ダイオキシン類は 4 地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成しています。

調査区域には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和 45 年 12 月 25 日 法律第 137 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日 法律第 68 号）により指定された区域（廃棄物が地下にある土地の区域）が 18 箇所あります。指定区域は表 4.1.3-2 に示すとおりです。

なお、調査区域には、「土壌汚染対策法」（平成 14 年 5 月 29 日法律第 53 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日 法律第 68 号）に基づく指定区域、「ダイオキシン類対策特別措置法」（平成 11 年 7 月 16 日 法律第 105 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日 法律第 68 号）により指定されたダイオキシン類土壌汚染対策地、「底質の処理・処分等に関する指針」（平成 14 年 8 月 30 日 環水管第 211 号 環境省環境管理局水環境部長通知）に基づき処理された PCB 盛立地及び「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」（昭和 45 年 12 月 25 日 法律第 139 号、最終改正：平成 23 年 8 月 30 日 法律第 105 号）により指定された農用地土壌汚染対策地域はありません。

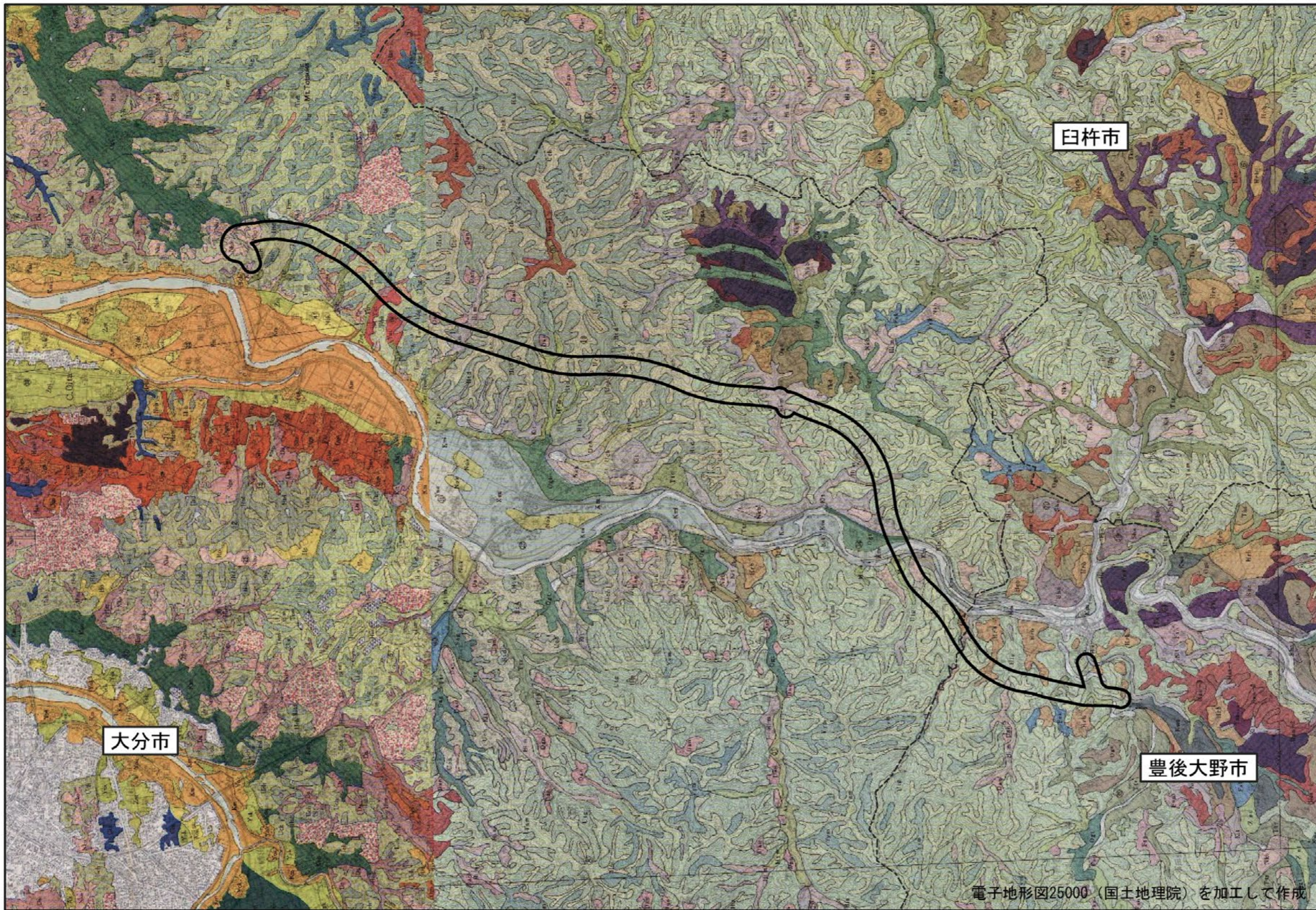
表 4.1.3-1 土壌のダイオキシン類の調査結果（令和 4 年度～令和 6 年度）

番号	調査地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	環境基準値	環境基準の達成状況 (達成・非達成×)	調査年度
1	大分市森町	0.45	1000 pg- TEQ/g 以下		令和 4 年度
2	大分市永興	1.0			令和 4 年度
3	大分市けやき台	0.0070			令和 5 年度
4	大分市希望ヶ丘 A	0.00078			令和 6 年度

出典：「令和 4 年度 大気環境、水環境、ダイオキシン類、自動車騒音及び環境放射能水準調査結果」（令和 5 年 11 月、大分県）

「令和 5 年度 大気環境、水環境、ダイオキシン類、自動車騒音及び環境放射能水準調査結果」（令和 7 年 2 月、大分県）

「令和 6 年度 大気環境、水環境、ダイオキシン類、自動車騒音及び環境放射能水準調査結果」（令和 7 年 9 月、大分県）



凡例

都市計画対象道路
事業実施区域

市町村界

台地および低地の土壌

- D2 } 厚層黒ボク土壌
- D2 } 黒ボク土壌
- D-c } 粗粒黒ボク土壌
- D3 D3 } 多湿黒ボク土壌
- D3 D3 } 淡色黒ボク土壌
- D1 D1 } 淡色黒ボク土壌
- Y Y } 黄色土壌
- Y Y } 黄色土壌
- Y Y } 黄色土壌
- Y Y } 黄色土壌
- Y } 黄色土壌
- G } 灰色台地土壌
- BL BL } 褐色低地土壌
- BL-c } 粗粒褐色低地土壌
- BL-c } 粗粒褐色低地土壌
- BL-c } 粗粒褐色低地土壌
- GL-t } 細粒灰色低地土壌
- GL-t } 細粒灰色低地土壌
- GL-t } 細粒灰色低地土壌
- GL-t } 細粒灰色低地土壌
- GL-t } 細粒灰色低地土壌
- GL } 灰色低地土壌
- GL } 灰色低地土壌
- GL-c } 粗粒灰色低地土壌
- GL-c } 粗粒灰色低地土壌
- GL-c } 粗粒灰色低地土壌
- G-t } 細粒グライ土壌
- G-t } 細粒グライ土壌
- G-t } 細粒グライ土壌
- G-c } 粗粒グライ土壌
- G-c } 粗粒グライ土壌
- 岩石地
- 埋立地(砂)
- 人工改変地
(住宅団地・ゴルフ場)

電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成



- 山地および丘陵地の土壌
- RG } 残積性未熟土壌
 - RS } 砂丘未熟土壌
 - D2 } 厚層黒ボク土壌
 - D } 黒ボク土壌
 - D-c } 粗粒黒ボク土壌
 - D1 D1 } 淡色黒ボク土壌
 - B-d } 乾性褐色森林土壌
 - B-d } 乾性褐色森林土壌
 - B(Y-d) } 乾性褐色森林土壌(黄褐色系)
 - B(Y-d) } 乾性褐色森林土壌(黄褐色系)
 - B(Y-d) } 乾性褐色森林土壌(黄褐色系)
 - B } 褐色森林土壌
 - B(Y) } 褐色森林土壌(黄褐色系)
 - B(Y) } 褐色森林土壌(黄褐色系)
 - DR DR } 暗赤色土壌

出典：
「5万分の1 土地分類基本調査(土壌図)「大分・佐賀関」(昭和54年3月、国土交通省)
「5万分の1 土地分類基本調査(土壌図)「犬飼」(昭和50年3月、国土交通省)

図 4.1.3-1 土壌図

表 4.1.3-2 廃棄物が地下にある土地として指定した区域（指定区域）一覧

番号	所在地	指定年月日	埋立地の区分	出典
1	大分市大字松岡字松ヶ丘 6862 番、6864 番、6865 番	平成 31 年 2 月 13 日	ウ	2 (産廃-1)
2	大分市大字横尾字梶ヶ迫 3582 番、3583 番、3584 番	平成 31 年 2 月 13 日	ウ	2 (産廃-2)
3	大分市大字片島字堤ヶ谷 2291 番、2292 番、2294 番、2295 番	平成 31 年 2 月 13 日	ウ	2 (産廃-3)
4	大分市大字横尾字北一ノ谷 1669 番	平成 31 年 2 月 13 日	イ	2 (産廃-7)
5	大分市大字久土字芦原 2132 番、2134 番 1、2135 番 3、2136 番 4、2128 番、2129 番、2130 番、2131 番、2125 番 1、2133 番	平成 31 年 2 月 13 日	イ	2 (産廃-8)
6	大分市大字片島 2448 番 15、2448 番 16、2448 番 17	平成 31 年 2 月 13 日	ア	2 (産廃-9)
7	大分市大字一木字炭床 223 番 1、298 番、299 番 2、309 番、309 番 2、310 番 1、310 番 3	平成 31 年 2 月 13 日	ア	2 (産廃-10)
8	大分市大字久土字芦原 2118 番 1、2119 番、2120 番、2121 番、2122 番、2123 番 1、2142 番	平成 31 年 2 月 13 日	ア	2 (産廃-11)
9	大分市大字迫字丸山 634 番 3、634 番 5、639 番 1、639 番 3、644 番、646 番 1、648 番、653 番 1	平成 31 年 2 月 13 日	ア	2 (産廃-13)
10	大分市大字丹川迫向赤迫 1890 番 1、1891 番 1、1891 番 2、1892 番 1	平成 31 年 2 月 13 日	ア	2 (産廃-14)
11	大分市大字上戸次字川場形 19 番 1、15 番、16 番	平成 31 年 2 月 13 日	ア	2 (産廃-15)
12	大分市大字竹中字小屋 4969 番 6、4969 番 7、4969 番 8、4970 番 2、4970 番 6、4970 番 7	平成 31 年 2 月 13 日	ア	2 (産廃-16)
13	大分市大字宮河内字貢迫 4195 番地 1	平成 31 年 2 月 13 日	工	2 (産廃-17)
14	大分市大字片島字御零ヶ尾 2501 番 1、2501 番 4、2501 番 5、2501 番 6、2519 番 1、2519 番 2、2519 番 3、2520 番 1、2520 番 2、2520 番 3、2520 番 4	令和 5 年 6 月 29 日	ア	2 (産廃-18)
15	臼杵市大字久木小野字小藤田 1098、宇土 124 4、1245、1247-8、1247-11-2、1248、1249、1250、藤畑 198、199、200、201、202、203、210、212-1、前合 1252、1255、1257、三百久保 147、148、藤太 1094、柳畑 1108-2	平成 24 年 4 月 10 日	イ	1 (産廃-49)
16	臼杵市大字末広字過原 2164-1、2165-3	平成 24 年 4 月 10 日	ア	1 (産廃-50)
17	臼杵市大字久木小野字小藤太 1095-1、1095-2、1096、1097-2、211、212-1、213-1	平成 24 年 4 月 10 日	ウ	1 (産廃-51)
18	臼杵市大字久木小野字西小藤太 472、字中尾 52 6 の一部、527 の一部、528-1 の一部、529 の一部、542 の一部、543 の一部、544-2、546-2、548、549、550-2、551、552、554 の一部、555、556、557 の一部、558、559、560、561、562、563、564、565 及び 566-2、字ナガヲサ 567、568、569、570、571、572、573、574、575、576 の一部及び 577 の一部並びに字堀ノ口 973-2、974-2、975-2、979-2、980-3、981-2、字狭間 1071 の一部、1072-2 の一部、1076-2 の一部、1076-3 の一部、1085-2、1086、1087、1088-2 及び 1090-2 の一部	令和 3 年 3 月 16 日	ア	1 (一廃-8)

注 1) 埋立地の区分

ア：廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和 46 年政令第 300 号。以下「法施行令」という。）第 13 条の 2 第 1 号

イ：法施行令第 13 条の 2 第 2 号

ウ：法施行令第 13 条の 2 第 3 号イ及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則（昭和 46 年厚生省令第 35 号。以下「法施行規則」という。）第 12 条の 31 第 1 号

エ：法施行令第 13 条の 2 第 3 号イ及び法施行規則第 12 条の 31 第 2 号

注 2) 出典の()内の番号は、指定番号を示す。

出典：1)「大分県 HP / 廃止した廃棄物最終処分場の指定区域の指定について」(令和 7 年 12 月現在、大分県循環社会推進課)

2)「大分市 HP / 地下に廃棄物がある区域の指定について」(令和 7 年 12 月現在、大分市環境部廃棄物対策課)

2)地盤の状況

「令和5年度全国の地盤沈下地域の概況」(令和7年3月、環境省 水・大気環境局)によると、調査区域では、これまでに地盤沈下が観測された地域はありません。また、大分市、豊後大野市及び臼杵市では、「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」(昭和37年5月1日 法律第100号、最終改正：令和4年6月17日 法律第68号)、「工業用水法」(昭和31年6月11日 法律第146号、最終改正：令和4年6月17日 法律第68号)による地下水の制限地域はありません。

大分平野地区の地盤沈下の状況として、「大分県大分平野 地盤環境情報 令和5年度」(令和7年12月現在、環境省ホームページ)の情報は表4.1.33に示すとおりです。

大分平野地区における代表的な水準点(調査区域外)での累計最大沈下量は、5.67cmとなっており、平成18年の国土地理院による水準測量結果によると、代表的な水準点のほぼ全てが隆起している傾向にあり、沈下が認められる地域は少なく、地盤沈下は鈍化しています。

表 4.1.3-3 大分平野地区の地盤沈下情報

項目	内容
1. 概要	(1) 地盤沈下等の概要 平成11年に国土地理院が国道197号沿いに実施した水準測量によれば、大分市市街地を中心として1cm程度の沈下が認められているが、詳しい状況は不明であり、県内で地盤沈下が問題になってはいない。 (2) 地形、地質の概要 大分平野は大分川と大野川が形成した二つの沖積平野と三角州からなり、この二つの沖積平野の間は台地になっていることから、平野の面積は狭い。
2. 地下水採取の状況	工業用地下水取水量が6.1千m ³ /日(令和2年の大分市)となっているが、淡水を水源とする工業用水(2,995千m ³ /日)に占める地下水の割合は少ない。また、平成18年の大分市における地下水を水源とする工業用水の取水量が11.4千m ³ /日であったことから、工業用水としての地下水利用量は減少している。その他の用途の地下水利用については不明である。
3. 地盤沈下等の状況	国土地理院の水準測量結果によると、大分平野地区における代表的な水準点での累計最大沈下量は、5.67cmとなっている。なお、平成18年の国土地理院による水準測量結果によると、代表的な水準点のほぼ全てが隆起している傾向にあり、沈下が認められる地域は少なく、地盤沈下は鈍化しているが、平成18年以降に水準測量が実施されていないため、その後の状況については不明である。
4. 被害	被害の報告はない。
5. 対策	必要なし。

) 調査区域外に位置しています。
出典：「環境省 HP / 大分県大分平野 地盤環境情報 令和5年度」(令和7年12月現在、環境省)

3) 地下水の水位の状況

調査区域では、国土庁（現、国土交通省）による全国地下水井戸資料台帳調査により地下水を利用するための揚水施設である深井戸の状況が把握されています。

調査区域に位置している全国地下水井戸資料台帳調査の対象井戸並びにその調査結果は表 4.1.3-4 に、全国地下水井戸資料台帳調査の対象井戸の位置は図 4.1.3-2 に示すとおりです。深井戸の深度から、調査区域では、30m～150m 程度の深度に地下水が存在することが考えられます。

なお、調査区域では、地域全体での地下水の分布状況の調査、並びに地下水位の経年変化に係る調査は実施されていません。

表 4.1.3-4 全国地下水井戸資料台帳調査の対象井戸並びに調査結果

番号	所在地	使用目的	深度(m)	揚水量(m ³ /d)
1	大分市下郡	雑用水	30.0	200
2	大分市	工業用水	30.0	200
3	大分市宮崎	工業用水	100.0	1,054
4	大分市大字宮崎	工業用水	30.0	132
5	大分市坂ノ市	工業用水	120.0	4,293
6	大分市大字松岡	工業用水	35.0	3,018
7	大分市大字松岡	工業用水	35.0	3,018
8	大分市大字中戸次寺の内 9105 番地の 1	工業用水	60.0	1,045
9	大分市大字中戸次寺の内 9105 番地	工業用水	60.0	1,044
10	大野郡野津町大字千塚	飲料用水	150.0	60
11	大野郡野津町大字千塚中尾 120 番地	工業用水	150.0	337

注) 表中の番号は図 4.1.3-2 に対応

出典: 「全国地下水(深井戸)資料台帳(九州編)」(昭和 57 年 3 月、国土庁土地局国土調査課)

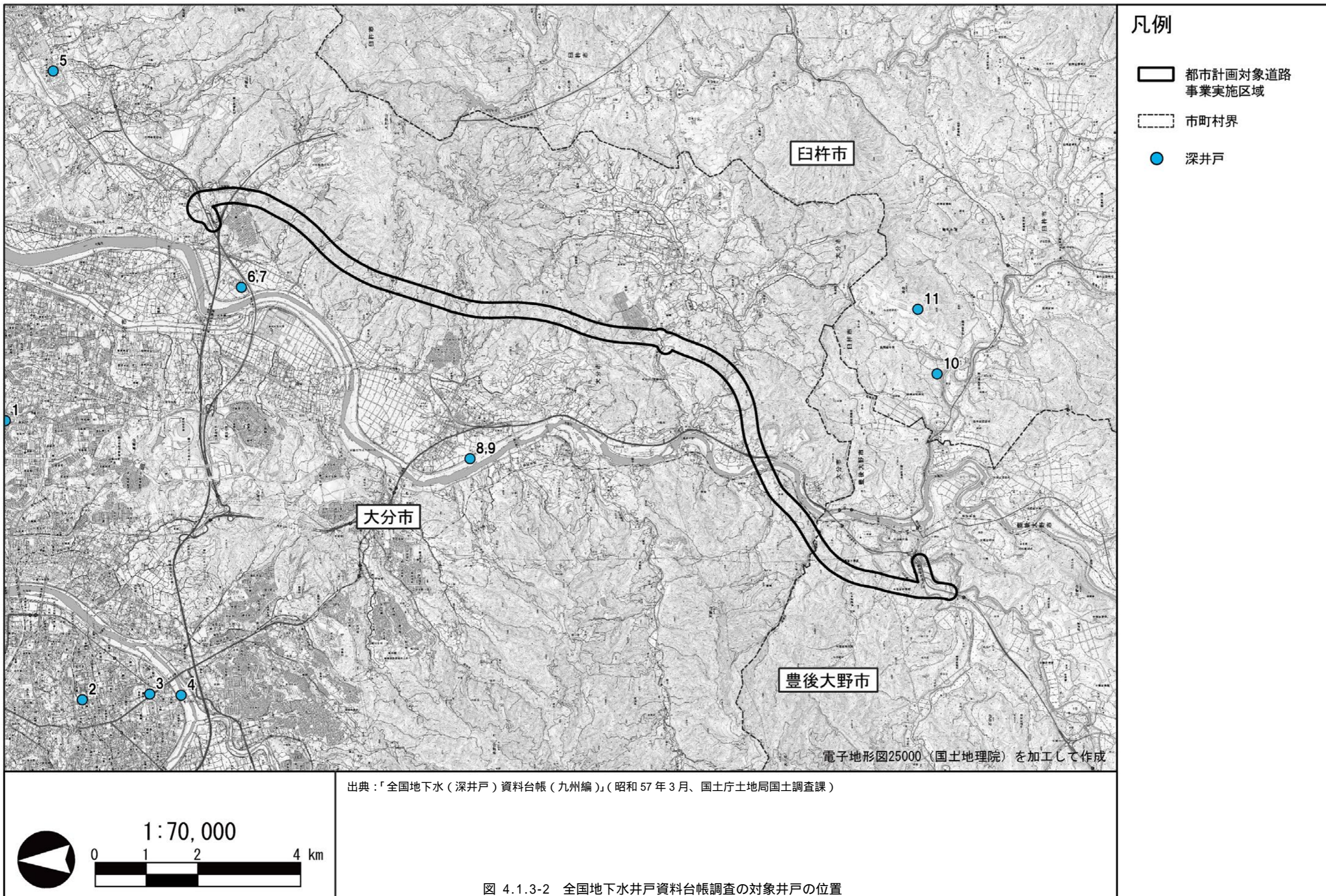


図 4.1.3-2 全国地下水井戸資料台帳調査の対象井戸の位置

4.1.4 地形及び地質の状況

1) 地形の状況

調査区域の地形分類図は図 4.1.4-1 に示すとおりです。

調査区域には、山地・丘陵地において、主に中起伏山地、小起伏山地等が分布しており、台地においては、主に砂礫台地・段丘等が分布しており、低地においては、主に氾濫原や扇状地等が分布しています。

2) 地質の状況

調査区域の表層地質図は図 4.1.4-2 に示すとおりです。

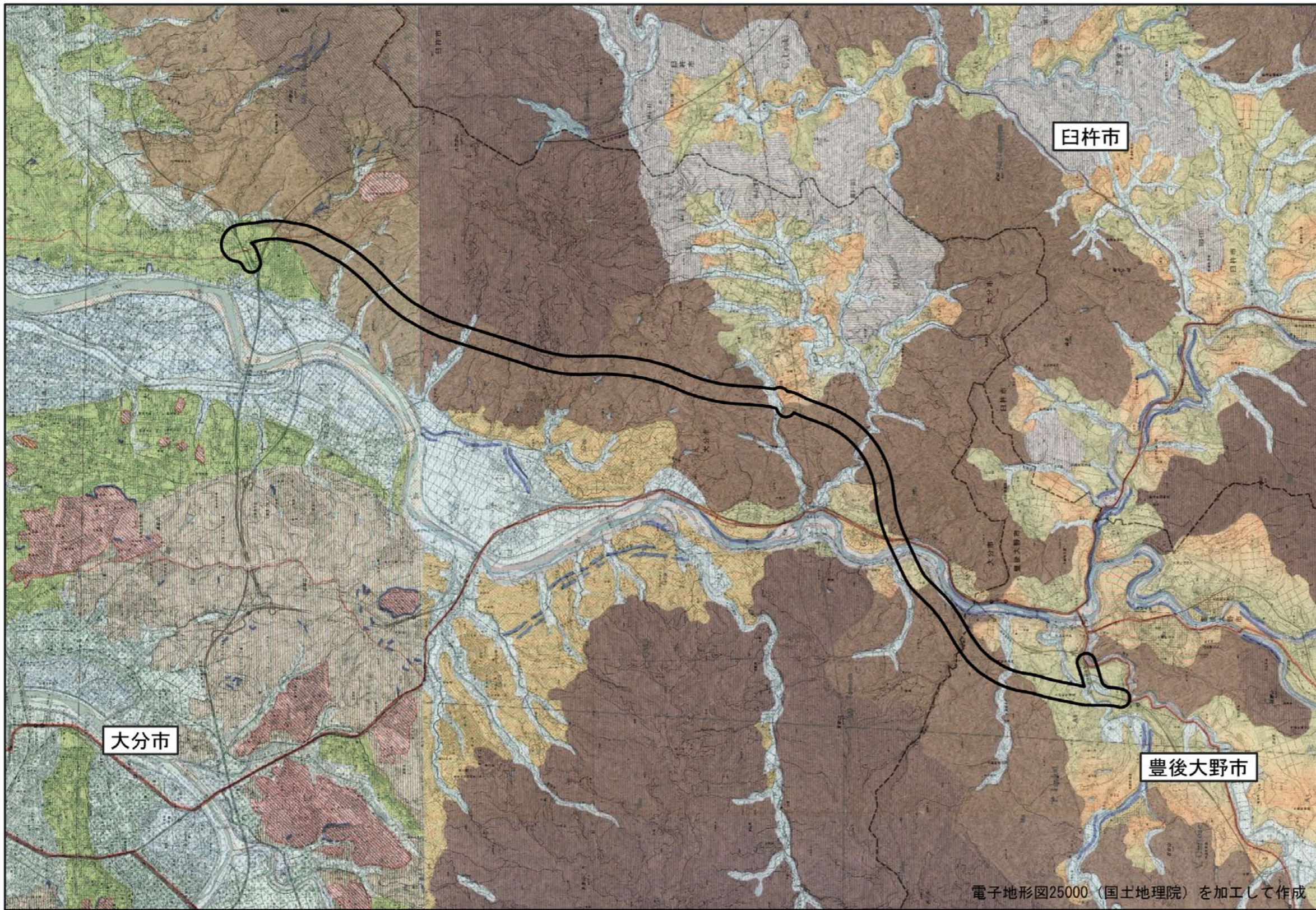
調査区域には、山地・丘陵地において、主に泥質片岩、砂岩・頁岩及び礫岩等が分布しており、台地において、主に非溶結のガラス火山灰及び軽石、溶結凝灰岩等が分布しており、低地において、主に軽石質砂・泥及び礫、礫・砂及び泥等が分布しています。

また、「大分地域の地質 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅) 平成9年、地質研究所」によると、調査区域の地質系統は大きく区分して、白亜紀の低温高压型変成岩である三波川変成岩類、上部白亜系堆積岩類の大野川層群、及び第四紀(一部は新第三紀末)の火山岩・堆積岩類からなります。三波川変成岩類は西南日本外帯の三波川帯に、東西約700 km にわたって分布する低温高压型の変成岩類です。上部白亜系大野川層群は、阿蘇山南方から臼杵湾に至る、臼杵-八代構造線の北側に位置する大野川地溝帯に広く分布する、海成(最下部の一部は非海成の可能性あり)の堆積物です。

3) 活断層の状況

調査区域の活断層の分布状況は図 4.1.4-2 に示すとおりです。

調査区域には、佐賀関活断層、福良木活断層が存在します。



凡例

都市計画対象道路
事業実施区域

市町村界

山地・火山地

- Mi 大起伏山地
- Mmi 中起伏山地
- Msi 小起伏山地
- Vi 大起伏火山地
- Vsi 小起伏火山地

丘陵地

- HK(I) 丘陵地 (I)
- HK(II) 丘陵地 (II)

台地・段丘

- Rt 岩石台地・段丘
- Gt 砂礫台地・段丘
- Lp 溶岩台地
- At 火山灰台地

低地

- P 谷底平野
- D 三角州 (海岸平野)
- FP-2 氾濫原 (上位)
- FP-1 氾濫原 (下位)
- F 扇状地
- Sr 河原
- Rb 磯
- Sb 浜
- A 埋立地

その他

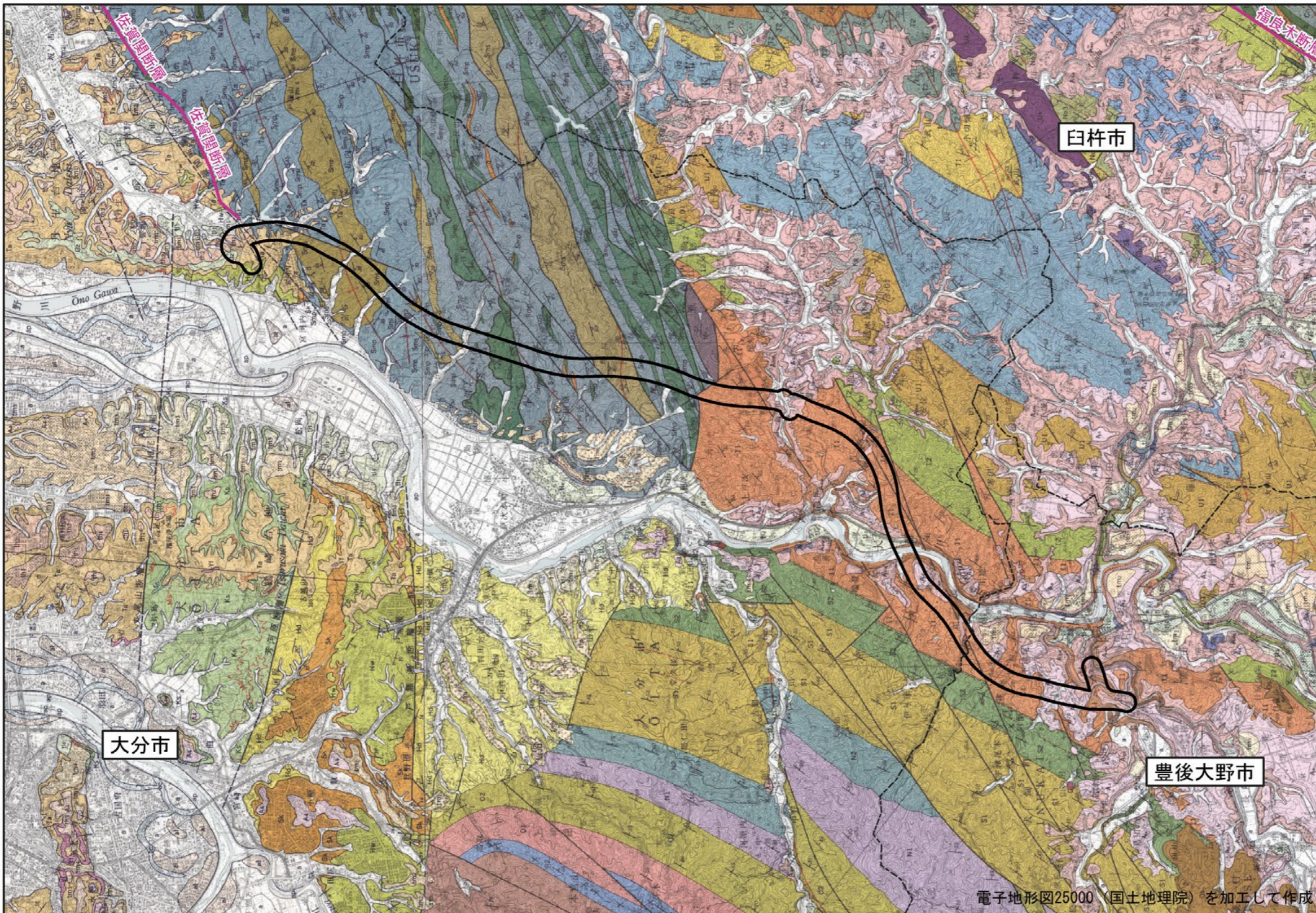
- Tac 麓斜面及び崖錐
- 崖
- 遷移点
- ダム
- 人工改変地形
- 地形界
- 分水界
- 国道
- 主要地方道
- 地すべり崩壊地形
- 崖欠壊

電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成

出典: 「5万分の1 土地分類基本調査 (地形分類図)「大分・佐賀関」」(昭和54年3月、国土交通省)
 「5万分の1 土地分類基本調査 (地形分類図)「犬飼」」(昭和50年3月、国土交通省)



図 4.1.4-1 地形分類図



凡例

都市計画対象道路
事業実施区域
 市町村界

①

mp	礫・砂及び泥	shu	礫・砂及び泥
ml	泥及び砂	oz	礫・砂及び泥
sl	砂	ts	軽石質砂・泥及び礫
sp	砂及び礫	sg	火山砂及び礫
t	岩屑・礫及び砂	slc	石灰質片岩
lms	礫・砂及び泥	snv	蛇紋岩
lms	礫・砂及び泥	snv	蛇紋岩
oz	礫・砂及び泥	oz	礫岩

②
 ① 非溶結のガラス火山灰及び軽石 (普通角閃石黒雲母流紋岩)
 ② 軽石及びガラス火山灰 (普通角閃石黒雲母デイサイト)
 ③ 礫及び砂、軽石質凝灰岩層を挟む
 ④ 軽石及びガラス火山灰 (斜方輝石単斜輝石デイサイト)
 ⑤ 軽石及びガラス火山灰 (斜方輝石単斜輝石デイサイト)
 ⑥ 岩脈 (普通角閃石安山岩)

②

tl	礫・砂及び泥	m1	砂岩、頁岩及び礫岩を伴う
tl	礫・砂及び泥	u2	頁岩、砂岩及び礫岩
tl	酸性凝灰岩	u3	砂岩、礫岩及び頁岩を伴う
tl	砂岩	l2	砂岩及び頁岩
tl	頁岩及び砂岩	l1	砂岩・頁岩及び礫岩
tl	頁岩	l2	砂岩及び頁岩
tl	砂岩、礫岩を伴う	l1	砂岩、頁岩及び礫岩を伴う
tl	砂岩及び頁岩	l2	頁岩及び砂岩、礫岩を伴う
tl	泥質千枚岩	l1	礫岩、砂岩及び頁岩を伴う
tl	かんらん石安山岩	l2	砂岩、頁岩及び礫岩を伴う
tl	頁岩、砂岩を伴う	l1	礫岩、砂岩を伴う
tl	砂岩、頁岩を伴う	l2	頁岩、砂岩及び礫岩を伴う
tl	塩基性火山岩類	l1	礫岩、砂岩を伴う

① 非溶結のガラス火山灰及び軽石 (普通輝石含有紫蘇輝石普通角閃石デイサイト)
 ② 非溶結のガラス火山灰及び軽石 (黒雲母流紋岩)
 ③ 溶結凝灰岩、一部非溶結の火山灰及び軽石 ((黒雲母)単斜輝石斜方輝石流紋岩)
 ④ 含礫泥岩、塩基性火山岩類・チャート・砂岩・砂岩泥岩互層・珪質泥岩及び石灰岩の礫・岩塊を含む
 ⑤ チャート
 ⑥ 石英片岩 (q) 及び結晶質石灰岩 (l)
 ⑦ 泥質岩、砂岩及び礫岩を伴う
 ⑧ 石英閃緑岩起源マイロナイト

電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成

1:70,000

0 1 2 4 km

①②共通	①	②	①②共通	①	②
地層の走向及び傾斜	アンチフォーム	背斜軸	礫・砂及び泥	塩基性片岩	①非溶結のガラス火山灰及び軽石 (紫蘇輝石普通角閃石デイサイト)
逆転層の走向及び傾斜	シンフォーム	向斜軸	礫・砂及び泥	①礫・砂及びシルト	②非溶結のガラス火山灰及び軽石 (普通輝石含有紫蘇輝石普通角閃石デイサイト)
片理面の走向及び傾斜	伏在断層	大型化石	砂質片岩	①シルト及び砂、軽石質凝灰岩層及びガラス火山灰層を挟む	①溶結凝灰岩 (紫蘇輝石普通角閃石デイサイト)
断層	稼行採石場	年代測定試料採取地点	泥質片岩	②砂・シルト・礫及び凝灰岩	②溶結凝灰岩 (普通輝石含有紫蘇輝石普通角閃石デイサイト)
活断層				①非溶結のガラス火山灰及び軽石 (普通角閃石黒雲母流紋岩)	①非溶結のガラス火山灰及びスコリア (単斜輝石斜方輝石安山岩)
				②軽石凝灰岩 (黒雲母流紋岩)	②非溶結のガラス火山灰及びスコリア (普通輝石紫蘇輝石安山岩)

出典：
 「5万分の1地質図幅「大分」」(平成9年3月、産業技術総合研究所地質調査総合センター)
 「5万分の1地質図幅「犬飼」」(平成4年3月、産業技術総合研究所地質調査総合センター)
 「地質調査総合センターHP / 活断層データベース」(令和7年12月現在、産業技術総合研究所地質調査総合センター)

図 4.1.4-2 表層地質図

4)重要な地形及び地質の状況

重要な地形及び地質の選定基準は、表 4.1.4-1 に示すとおりです。

調査区域の重要な地形及び地質は表 4.1.4-2、位置は図 4.1.4-3 に示すとおりです。

調査区域には、「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万 すぐれた自然図 大分県」(昭和51年、環境庁)に記載された丹生台地の段丘面、「日本の地形レッドデータブック 第1集 - 危機にある地形 - 」(平成12年12月、古今書院)に記載された大野川河口干潟の重要な地形が分布しています。

表 4.1.4-1 重要な地形及び地質の選定基準

番号	法律及び文献	選定基準及びランク
1	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)	国：国指定天然記念物 県：県指定天然記念物 市：市指定天然記念物 国登：国登録天然記念物
	「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(平成4年条約第7号)	登録自然遺産
	「自然環境保全法」(昭和47年法律第85号)	自然環境保全地域
	「大分県自然環境保全条例」(昭和47年大分県条例第38号)	県自然環境保全地域
	「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万 すぐれた自然図 大分県」(昭和51年、環境庁)	すぐれたまたは特異な地形・地質・自然現象
	「日本の地形レッドデータブック 第1集 - 危機にある地形 - 」(平成12年12月、古今書院)及び「日本の地形レッドデータブック 第2集 - 保存すべき地形 - 」(平成14年3月、古今書院)	：日本の自然を代表する典型的かつ希少、貴重な地形 ： に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形 ：多数存在するが、なかでも最も典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形 ：動物や植物の生育地として重要な地形

表 4.1.4-2 調査区域の重要な地形及び地質

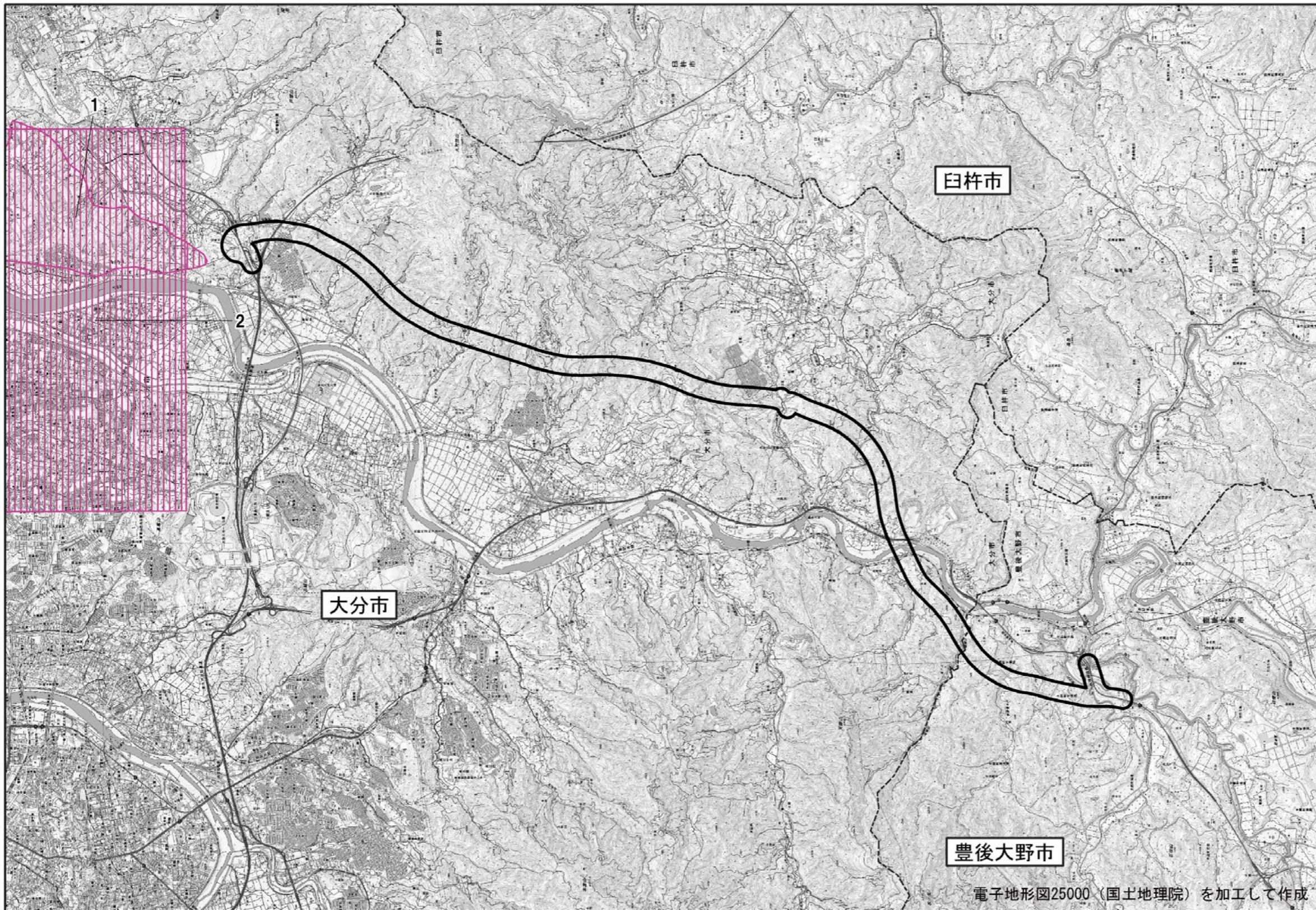
項目	番号	名称	区分	選定基準					
地形	1	丹生台地の段丘面	自然景観資源						
	2	大野川河口干潟	海岸地形						

注1) 表中の番号は図 4.1.4-3 に対応


注2) 表中の選定基準については表 4.1.4-1 を参照

出典：「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万 すぐれた自然図 大分県」(昭和51年、環境庁)

「日本の地形レッドデータブック 第1集 - 危機にある地形 - 」(平成12年12月、古今書院)



凡例

-  都市計画対象道路事業実施区域
-  市町村界
-  重要な地形地質

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

出典：「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図 大分県」(昭和51年、環境庁)
 「日本の地形レッドデータブック 第1集 - 危機にある地形 -」(平成12年12月、古今書院)



図 4.1.4-3 重要な地形及び地質位置図